

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3140984号
(U3140984)

(45) 発行日 平成20年4月17日(2008.4.17)

(24) 登録日 平成20年3月26日(2008.3.26)

(51) Int.Cl.

A O 1 G 9/00 (2006.01)

F 1

A O 1 G 9/00

B

評価書の請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2008-566 (U2008-566)
(22) 出願日 平成20年2月5日(2008.2.5)(73) 実用新案権者 505023593
坂本 正幸
熊本県山鹿市鍋田2017
(74) 代理人 100082164
弁理士 小堀 益
(74) 代理人 100105577
弁理士 堤 隆人
(72) 考案者 坂本 正幸
熊本県山鹿市鍋田2017

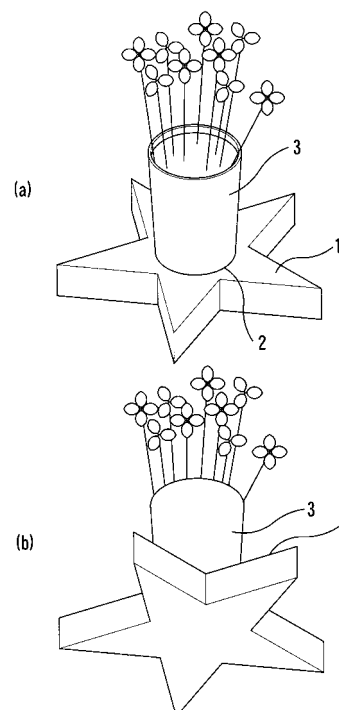
(54) 【考案の名称】 小鉢置台

(57) 【要約】

【課題】 植物を植えた小鉢を確実に保持できるとともに、水管理や取替が容易にできる小鉢置台を提供する。

【解決手段】 植物を植えた小鉢を載せる小鉢置台1において、小鉢置台1の上面側に植物を植えた小鉢3の底部を嵌め込んで密着させて支持する少なくとも一個の小鉢嵌合凹部2が形成されている。小鉢置台1の内部に小鉢嵌合凹部に連通する水を溜める空間を形成したり、小鉢置台1の下面側に吸盤を設けたり、小鉢置台1の下面側に下側に湾曲した蒲鉾型の湾曲部を設けて揺動可能にすることができる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

植物を植えた小鉢を載せる小鉢置台において、前記小鉢置台の上面側に植物を植えた小鉢の底部を嵌め込んで密着させて支持する少なくとも一個の小鉢嵌合凹部が形成されていることを特徴とする小鉢置台。

【請求項 2】

前記小鉢置台の下面に前記小鉢置台を水平回転させる回転機構を設けたことを特徴とする請求項 1 記載の小鉢置台。

【請求項 3】

前記小鉢置台の内部に小鉢嵌合凹部に連通する水を溜める空間が形成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の小鉢置台。

10

【請求項 4】

前記小鉢置台の下面側に吸盤が設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 3 記載の小鉢置台。

【請求項 5】

前記小鉢置台にこの小鉢置台を吊すためのフックが設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 3 記載の小鉢置台。

【請求項 6】

前記小鉢置台の下面側に下側に湾曲した湾曲部が形成され、該湾曲部を通る垂直線上に重心を位置させるとともに、小鉢嵌合凹部が湾曲部の上方に形成されていることを特徴とする請求項 1 又は 3 記載の小鉢置台。

20

【請求項 7】

前記小鉢置台の下面側に小鉢置台を揺動させる揺動装置を設けたことを特徴とする請求項 6 記載の小鉢置台。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、小さな植物を植えた小鉢を載せて卓上などに置いて楽しむことができる小鉢置台に関する。

【背景技術】

30

【0002】

鉢植え植物を観賞する場合、鉢を受け皿に置いたり、鉢底に直接皿を付けたり、あるいは金属製のリングで保持したりする方式などが知られている（特許文献 1～5 参照）。

【0003】

前記特許文献 1 には、底板から少なくとも 3 本の植木鉢支持体を立ち上がらせ、その頂部を植木鉢の受け皿の縁よりも高めに設定して構成される植木鉢の受け台が開示されている。

【0004】

また、前記特許文献 2 には、上板に草花ポットを嵌め込んで支持するためのポット嵌め込み孔を複数設けた草花ポットホルダーが開示されている。

40

【0005】

また、前記特許文献 3 には、台板の上面に支持棒を立設し、植木鉢の底面外壁に嵌合溝を設け、支持棒を嵌合溝内に嵌め込む転倒防止装置が開示されている。

【0006】

また、前記特許文献 4 には、支持台本体が、一端側に園芸鉢を挿入して保持し得る螺旋状の発条体からなり且つ他端側が自立可能に構成されてなる園芸鉢用支持台が開示されている。

【特許文献 1】特開 2003-102284 号

【特許文献 2】実用新案登録第 3068930 号公報

【特許文献 3】実開平 06-066435 号公報

50

【特許文献4】特開平08-038323号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0007】

前記各特許文献1に記載されている小鉢置台は、底板から立ち上げた3本の植木鉢支持体により植木鉢を支持するので、安定性に欠ける。

【0008】

また、前記特許文献2に記載されている草花ポットホルダーは、上面の下に形成されたポット嵌め込み孔の中に草花ポット全体が完全に落ち込んでしまうので、取り出しにくく、水管理などの作業がしづらいという難点がある。

10

【0009】

また、前記特許文献3に記載されている転倒防止装置は、台板に支持棒を立設し、植木鉢に嵌合溝を設け、支持棒を嵌合溝内に嵌め込む構造であるため、台および植木鉢を加工する必要がある、また、嵌め込み作業も必要であり、手間がかかるという欠点がある。

【0010】

また、前記特許文献4に記載されている園芸鉢用支持台は、螺旋状の発条体に植木鉢を浮かせて支持するので、安定性に欠けるという欠点がある。

【0011】

そこで、本考案は、植物を植えた小鉢を確実に保持できるとともに、水管理や取替が容易にできる小鉢置台を提供するものである。

20

【課題を解決するための手段】

【0012】

本考案は、植物を植えた小鉢を載せる小鉢置台において、小鉢置台の上面側に植物を植えた小鉢の底部を嵌め込んで密着させて支持する少なくとも一個の小鉢嵌合凹部が形成されていることを特徴とする。

【0013】

小鉢置台は、木、プラスチック、陶磁器、石あるいは金属などで形成することができる。小鉢置台の形状は、上面側に小鉢を保持する小鉢嵌合凹部を形成できればよく、板状、あるいは内部に水を溜める空間を設けるなどの適宜の形状に形成することができる。また、小鉢置台の輪郭は、小鉢置台を配置する場所などに応じて、星形、ハート形、舟形など適宜の形状に形成することができる。

30

【0014】

小鉢置台の上面側に形成する小鉢嵌合凹部の内径は、小鉢を嵌め込んで密着させて保持する直径とし、約10cm以下が好ましい。小鉢置台の小鉢嵌合凹部に嵌め込む小鉢の底部の外径は、小鉢嵌合凹部の内径より僅かに小さい寸法にして小鉢嵌合凹部に挿入可能にして、確実に嵌合して密着保持できるようにする。

【0015】

小鉢置台の小鉢嵌合凹部は、一個に限らず、複数個形成して複数の同種あるいは異種の植物を植えた小鉢を配置できるようにしてもよい。また、小鉢置台の側面が互いに隣接する小鉢置台を組合せ可能な形状としてもよい。こうして、小鉢置台に形成する小鉢嵌合凹部の数が、植物の種類、飾り付けの形態、小鉢置台を置く場所の雰囲気などから要求される数を適宜選択できるようにしておく。

40

【0016】

前記小鉢置台の下面側に吸盤を設けて水洗トイレの貯水タンクなどの狭い場所に固定できる構造にしてもよい。

【0017】

また、小鉢置台の下面側に下側に湾曲した蒲鉾型あるいはドーム状の湾曲部を形成して小鉢置台を揺動可能に形成したりしてもよい。下面側に形成された湾曲部により湾曲部を通る垂直線上に重心を位置させることができるので、小鉢置台を水平に維持することが可能となる。さらに、小鉢を保持する小鉢置台の小鉢嵌合凹部を湾曲部の上方に位置させる

50

ことにより、小鉢を保持しても重心が湾曲部の垂直線上に位置することになるので、小鉢置台を水平に維持することができる。小鉢置台を押さえた後に離すと、小鉢置台は湾曲部を中心に揺動し、この揺動により植物が揺れ、目を楽しませてくれる。さらに、小鉢置台を揺動させる揺動装置を設けて小鉢置台を連続的に揺動させるようにしてもよい。

【0018】

小鉢の底部には、水管理がし易いように水を吸い上げる給水孔を設ける。小鉢内の培地には吸水性を持たせ、小鉢置台の小鉢嵌合凹部から外した小鉢の底部を水に浸して通水孔を通して吸水して培地に水を供給し、水切りした後、小鉢置台の小鉢嵌合凹部に戻す。小鉢の植物が大きく生長したら、大鉢かあるいは庭などに植え替える。

【0019】

また、小鉢置台内部に小鉢嵌合凹部に連通する水を溜める空間を形成し、小鉢の底部を吸水できる構造、例えば、吸水紐を垂らして吸水してもよい。空間への給水は、小鉢を外した孔から補給することができる。

【0020】

また、小鉢置台にフックを設け、紐で壁から吊り下げ可能にしてもよい。

【0021】

また、小鉢置台の下面の周囲にボールを配置したり、小鉢置台の下面を回転台で支持したりして、小鉢置台全体を回転可能にしてもよい。

【考案の効果】

【0022】

小鉢を嵌合用の小鉢嵌合凹部に差し込んで密着させて小鉢置台から外れない構造にしているので、植物を安定して保持することができる。

【0023】

また、本考案の小鉢置台は、複数の小鉢嵌合凹部を形成したり、さらには小鉢置台どうしを組合せたりすることにより、小鉢嵌合凹部の数を適宜増やして各種の植物を配置することができるので、イングリッシュガーデンのような寄せ植えするミニガーデン風となって目を楽しませることができる。

【0024】

また、本考案の小鉢置台は、小鉢置台の下面側に横断面円弧状の湾曲部を形成することにより小鉢置台を軽くさわることでしばらく揺れるので、小鉢置台の揺動により植物が揺れ、その結果、目を長く植物にひきつけて、興味深く見られるようになる。また、静止の状態に比べて違った印象を与えることができる。

【0025】

また、本考案の小鉢置台は、小鉢置台内部に小鉢嵌合凹部に連通する水を溜める空間を形成することにより、水管理が容易となる。

【0026】

また、小鉢置台の下面側に吸盤を設けることにより、水洗トイレの貯水タンクなどの不安定な場所に安定して固定することができる。

【0027】

小鉢置台を揺動させる揺動装置を設けて小鉢置台を連続的に揺動させることにより、長く目を楽しませることができる。

【0028】

また、小鉢置台にフックを設けて壁から吊り下げる用にしてインテリアとしても利用することができる。

【0029】

また、小鉢置台全体を回転可能にすることにより、植物を回して植物全体を鑑賞することが可能となる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0030】

本考案の小鉢置台の実施例について図面を参照しながら説明する。

10

20

30

40

50

【実施例 1】

【0031】

図 1 (a) は本考案の小鉢置台の第 1 実施例を示す斜視図、(b) は小鉢置台の下面側を示す斜視図である。図 2 は小鉢を底面から見た斜視図である。

【0032】

図 1 において星形をした板状の小鉢置台 1 の上面側に小鉢を嵌め込んで保持できる小鉢嵌合凹部 2 を形成する。

【0033】

図 2 において、小鉢 3 は、従来の草花ポット、育苗ポット、小鉢と同様の縦断面台形の円筒形状である。小鉢 3 の底部には、側面端部に吸水用の切り欠き 4、底面に通水孔 5 が形成されている。小鉢への給水は、小鉢 3 の底部を水に浸すことにより、切り欠き 4 および通水孔 5 を通して培地に水が供給される。給水後は水切りして、小鉢置台 1 の小鉢嵌合凹部 2 に戻す。

【実施例 2】

【0034】

図 3 (a) は本考案の小鉢置台の第 2 実施例を示す斜視図、(b) は小鉢置台の下面側を示す斜視図、(c) は小鉢置台に小鉢を保持した状態を示す側面図である。

【0035】

図 3 において、ハート形をした板状の小鉢置台 1 の上面側に小鉢を嵌め込んで保持できる小鉢嵌合凹部 2 を形成する。

【0036】

小鉢置台 1 下面側に下側に湾曲した蒲鉾型の湾曲部 7 を形成する。湾曲部 7 がテーブルなどの支持面に接する凸部分 8 は、揺動方向に直交する方向に形成される。凸部分 8 は上面側の小鉢嵌合凹部 2 の下方に位置させて重心を通る垂直線が凸部分 8 を通るようにする。

【0037】

小鉢置台 1 を揺らし、植物が揺れることにより、静止の場合と異なった感じで目を楽しませることができる。

【0038】

なお、湾曲部 7 をドーム状に形成して、前後左右に揺動可能にしてもよい。

【実施例 3】

【0039】

図 4 (a) および (b) は本考案の小鉢置台の別実施例を示す斜視図である。

【0040】

図 4 (a) に示す実施例では、小鉢置台 1 に 2 個の小鉢嵌合凹部 2 を形成したものである。2 個の小鉢嵌合凹部 2、2 は、重心の上方に形成される。

【0041】

複数の小鉢嵌合凹部 2 を形成することにより、各種の植物を配置することができるとともに揺れる植物により、目を引き、単独の植物とは異なる感じで目を楽しませることができる。

【0042】

図 4 (b) に示す実施例では、小鉢置台 1 の形状をゴンドラ形にしたものである。ゴンドラ形の小鉢置台 1 の下面側に湾曲部 7 を形成することによりゴンドラの舟底が形成される。上面側には、小鉢 3 を保持する小鉢嵌合凹部を形成する。

【0043】

ゴンドラ形の小鉢置台を揺らすことにより、植物の揺れとゴンドラの揺れにより、目を楽しませることができる。

【0044】

なお、小鉢置台を揺動させる手段を設けることもできる。例えば、小鉢置台の下面から回転するカムを支持面に間欠的に接触させて小鉢置台の一方を上下動させて揺動させても

10

20

30

40

50

よい。

【実施例 4】

【0045】

図 5 は本考案の小鉢置台の別実施例を示す斜視図である。

【0046】

本実施例は、小鉢置台 1 の内部に小鉢嵌合凹部 2 に連通する水を溜める空間 9 を形成し、小鉢の底部を吸水できる構造としたものである。

【実施例 5】

【0047】

図 6 は本考案の小鉢置台の別実施例を示す斜視図である。

10

【0048】

本実施例は、小鉢置台 1 の下面側に吸盤 10 を設けて水洗トイレの貯水タンクなどの狭い置き場所に固定して、安定して小鉢置台 1 を保持できるようにしたものである。

【実施例 6】

【0049】

図 7 は本考案の小鉢置台を揺動させる揺動装置を備えた実施例を示す図である。

【0050】

小鉢置台 1 には揺動させる手段を設けることもできる。例えば、小鉢 3 をおいた小鉢置台 1 にモータ 13 の回転軸 11 に偏心カム 12 を取り付け。揺動の間隔は偏心カム 12 の回転数を調整することにより行う。本実施例は、回転する偏心カム 13 を支持面に間欠的に接触させて小鉢置台 1 の一方を上下動させて連続的にゆっくり揺動させることにより、長く目を楽しませることができる。

20

【実施例 7】

【0051】

図 8 は本考案の小鉢置台を吊した実施例を示す図である。

【0052】

本実施例は、小鉢 3 を載せる小鉢置台 1 にフック 14 を設け、フック 14 に結んだ紐 15 を壁 16 に固定したサポータ 17 に結んで吊り下げるものである。本実施例の小鉢置台は、壁に吊り下げることができるのでインテリアとして利用することができる。また、風により揺れるようにすることで、目を楽しませてくれる。

30

【図面の簡単な説明】

【0053】

【図 1】 (a) は本考案の小鉢置台の第 1 実施例を示す斜視図、(b) は小鉢置台の下面側を示す斜視図である。

【図 2】 小鉢を底面から見た斜視図である。

【図 3】 (a) は本考案の小鉢置台の第 2 実施例を示す斜視図、(b) は小鉢置台の下面側を示す斜視図、(c) は小鉢置台に小鉢を保持した状態を示す側面図である。

【図 4】 (a) および (b) は本考案の小鉢置台の別実施例を示す斜視図である。

【図 5】 本考案の小鉢置台の別実施例を示す一部断面図である。

【図 6】 本考案の小鉢置台の別実施例を示す図である。

40

【図 7】 本考案の小鉢置台を揺動させる手段を備えた実施例を示す図である。

【図 8】 本考案の小鉢置台を吊した実施例を示す図である。

【符号の説明】

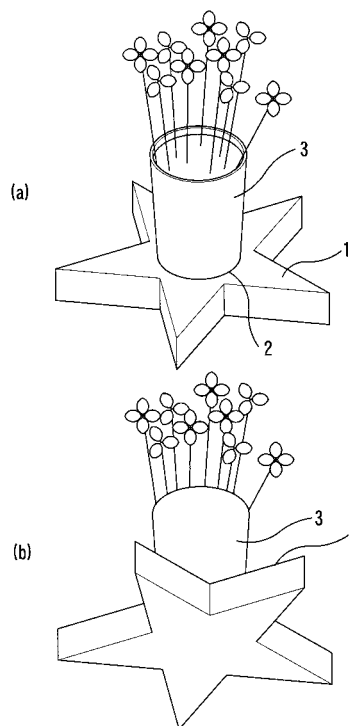
【0054】

- | | |
|----------|------------|
| 1 : 小鉢置台 | 2 : 小鉢嵌合凹部 |
| 3 : 小鉢 | 4 : 切り欠き |
| 5 : 通水孔 | 6 : 切り欠き |
| 7 : 湾曲部 | 8 : 凸部分 |
| 9 : 空間 | 10 : 吸盤 |
| 11 : 回転軸 | 12 : 偏心カム |

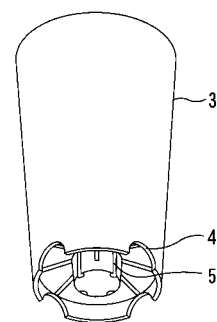
50

- 1 3 : モーター 1 4 : フック
1 5 : 紐 1 6 : 壁
1 7 : サポーター

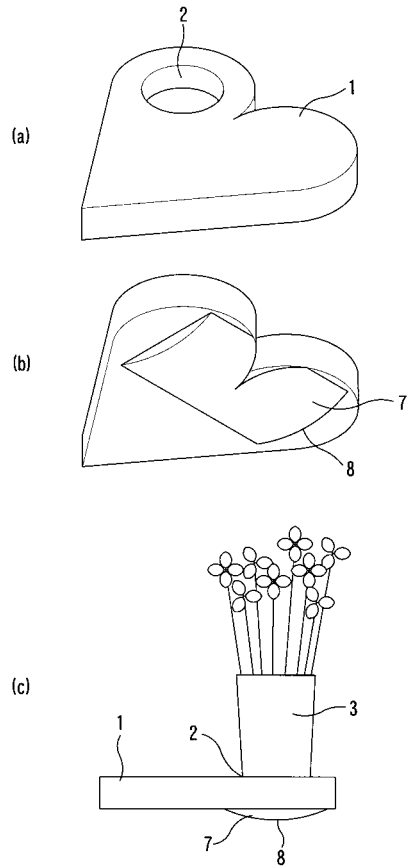
【図 1】



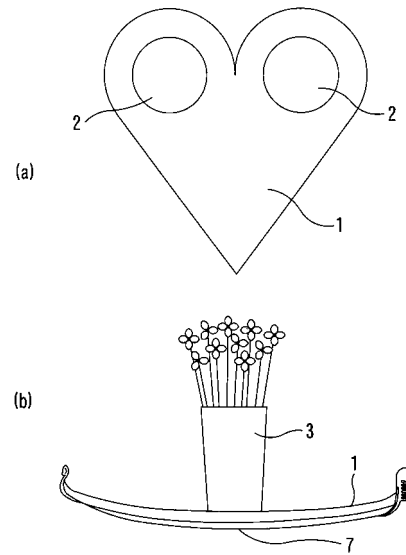
【図 2】



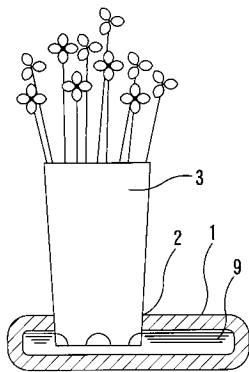
【図 3】



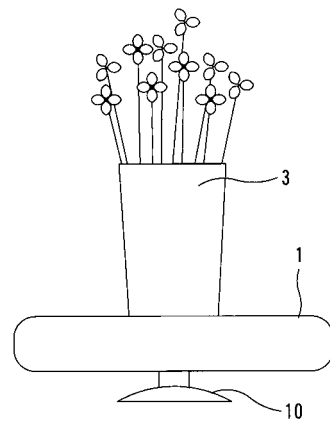
【図 4】



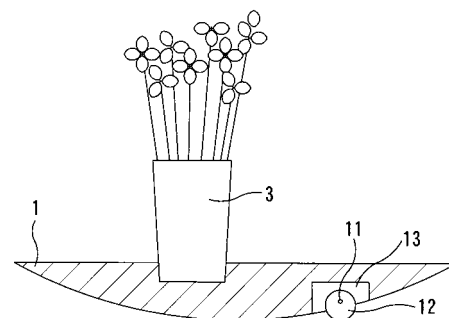
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【図 8】

